

Interview

楽団員インタビュー Vol.57

視野を広げて 創造力を磨きたい

第2ヴァイオリン首席 堀越 瑞生

Mizuki Horikoshi, Principal 2nd Violin



◆楽器を始めたきっかけは？

兄が先にヴァイオリンを習っていて、それを見て習い事というより遊び感覚のつもりで始めました。

◆オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

本格的に目指したのは大学生の時です。高校生まではソロの勉強をしていたので、大学に入ってアンサンブルの楽しさを知りました。大学のオーケストラの授業では、第一線で活躍されている指揮者やプレイヤーの方と毎週一緒に演奏でき、いろんなことを教えていただきました。

◆好きな作曲家・曲は？

1人に絞るのは難しいですが、選ぶとしたらブラームスです。交響曲も室内楽作品も大好きでよく聴きます。中でもセレナーデの第2番は、初めて海外の講習会へ行った時に他の受講生たちが演奏していて、聴き惚れたことを覚えています。初めての海外ということもあり不安などもあったのですが、この講習を通して、音楽は世界共通なんだなぁと実感しました。この曲はヴァイオリンがない珍しい編成です。いつか山響の演奏で聴いてみたいなぁと密かに思っています♪

◆第2ヴァイオリンの魅力は何ですか？

第2ヴァイオリンの魅力はとにかく刻みです(笑)。これだけでは語弊がありますが、とても大事な役割があります。全体のテンポ設定もそうですが、和声の動きなど、実は全体を支配しています。特にモーツァルトの作品を演奏する時は、第2ヴァイオリンの腕の見せ所です!まず音数が多く技術的に難しいのはもちろん、さらにそれを音楽的に作る作業は、大変ですがやりがいがあります。

また、第2ヴァイオリン奏者として意識していることは、とにかく柔軟であること。いろいろなことに対応できるよう、常にアンテナを張ってコミュニケーションが取れるように心がけています。

◆好きなヴァイオリン奏者は？

曲によって聴き分けていますが、リサ・バティアシュヴィリさん、庄司紗矢香さん、レオニダス・カヴァコスさんなどです。

◆使用している楽器について教えてください。

フランスの楽器 Pierre Gaggini。
低い音に深みがあってお気に入りです。

◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか？

お気に入りの場所は、遊学館です。昔から活字を読むのが苦手なのですが、それを克服するためにも、また自分のイメージ力を広げるためにも、いろんな本を借りるようにしています。なかなか最後まで読みきけることは出来ないのですが、遊学館にいくとたくさん本を借りたくなります。中庭の池も綺麗だし、カフェのパンも美味しいし、意外と夜遅くまで開いているので、リハ終わりによく行きます。

お気に入りのものは、山形の吟醸梅酒と果物のジュース、乾麺の鳥中華です。毎回お土産に買って帰ります。

◆趣味や特技はありますか？

趣味ってほどでもないですが、好きなキャラクターのグッズ集めです。ちびまる子ちゃんで有名な作者、さくらももこさんの作品が好きで、お店に行くと必ず買ってしまおうのが、何が当たるかわからないシークレットタイプの缶バッジとキーホルダー。ドキドキしながら開封するのが本当に楽しいです。あとは休みの日だと映画やドラマ、アニメを見たりしています。

◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも山響のコンサートにお越しくさりありがとうございます。私も山形でたくさんのコンサートができること、とても嬉しく思います。来年度も魅力的なプログラムがたくさんですので、皆様とコンサート会場でお会いできることを楽しみにしております!